

9月10日から10月10日までは「生活排水きれい推進月間」です

大分県では、9月10日から10月10日までを「生活排水きれい推進月間」と定め、食器を洗う前に油汚れを拭き取ったり、適量の洗剤を使うなど生活排水をきれいにする取り組みを県民に呼び掛けています。

私たちは、恵み豊かな自然に囲まれ、きれいな水の恩恵を受けています。

河川のきれいな水を守り、子どもたちに引き継いでいきましょう。

○毎日の生活の中で汚れた水を流さない「一人ひとりの心がけ」が大切です。



食事や飲み物は、出来るだけ残さない

油汚れなどは拭き取ってから洗う

水切り袋を利用して食品くずを流さない

洗剤は、適量を使用する

ゴミの上手な出し方

今まで『ゴミ』として出していたものの中に、『リサイクル資源』はありますか？

分別をしっかりとすることで、ゴミが減り、焼却にかかる費用も削減され、家庭から環境にやさしい取り組みが出来ます。

○生ごみは水切りをしっかりとる。

ごみの減量になります。さらに、嫌なにおいの発生を抑えることが期待できます。

可燃ごみの約半分は生ごみ。その80%は水分と言われています。

○第1分別のペットボトルは、必ず中身をすすいで、缶とビンとは分けて出しましょう。

リサイクル資源としての販売価格に大きく影響します。

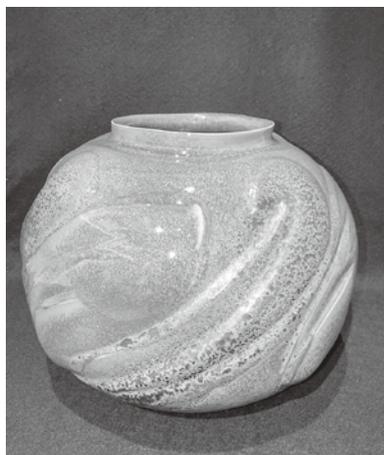
○特殊な紙以外は古紙回収に出して資源にしましょう。

お菓子の箱や包装紙、新聞紙(広告)などは、資源回収に出しましょう。



久留島武彦記念館 だより

問 久留島武彦記念館
☎(73)9200
kurushima@town.kusu.oita.jp



青銅辰砂花瓶・中島均 作

第16回企画展 『陶芸家 中島均展 -早世した才能の片鱗-』

開催期間：9月10日(金)～12月26日(日)

陶芸家 中島均(なかしま ひとし)は、青磁作家として日本の陶芸界をけん引した佐賀県武雄市出身の重要無形文化財保持者(人間国宝)、故・中島宏(なかしま ひろし)の実の兄です。43歳で日本現代陶芸展審査員に就するほどの人物でしたが、惜しくもその翌年に他界しました。

中島宏は、兄の均が日展に入賞したことに刺激を受け、陶芸家としての道を歩み始めたといいます。この秋、久留島武彦記念館では、「早世した才能の片鱗」と題し、中島均の幻の作品50点を日本初公開いたします。

※8月31日(火)～9月9日(木)は、展示替えのため臨時休館いたします。

> 来館の際は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策にご協力ください。>